

Vol.006

保健室だより

2009/07/24

こんにちは。暑い日が続いていますが、皆さん体調はいかがですか？

夏休みを前に、保健室だよりを作成しました。ぜひ読んで下さい。

編集担当：保健指導員



健康診断の結果について

校医から

4月に実施した健康診断では、369名の受診者のうち、“異常なし”の学生は133名で、ほかは“有所見”“要観察”“要精査”でした。受診するように指導を受けた学生は必ず受診して、結果を校医に知らせてください。特に4年生は就職活動の支障にならないよう、早めに受診してください。また、視力については、眼鏡をしていても正常値以下の学生が多く見られました。適切な視力は講義でも、実習でも必要になります。

	1年	2年	3年	4年	院1	院2	計
有所見 精査不要	11	9	10	13	0	0	43
要観察	27	29	22	25	1	2	106
要精査	20	15	21	23	0	3	82

小児期感染症の抗体価検査（1年生、3年編入生、大学院1年生）では、麻疹と風疹については問題ありませんでしたが、ムンプスでは17名、水痘では4名の学生がマイナスまたはプラスマイナスでした。実習の際に問題となりますので是非、休暇中にワクチンを接種してください。また、ツベルクリン反応が陰性だった学生は、感染の危険性が高いという自覚を持って実習に臨んでください。

さて、いよいよ夏休みです。開放的な気分になりますが、急性アルコール中毒や性感染症の罹患などの危険も回避しなくてはいけません。各自健康管理には十分留意してください。医療者を志す皆さんは自己をコントロールできる強さが必要です。また3年生は夏休みが明けると領域別実習がはじまります。心身ともに万全の態勢で挑めるようにしておきましょう。

新型インフルエンザについて

WHOは6月12日、新型インフルエンザをフェーズ6とし、世界的なまん延状況にあると宣言しました。国内の累計患者数は7月20日時点で4千名を超え、上越市内での感染も確認されています。過度に心配する必要はありませんが、今後、秋から冬にかけて流行する恐れもあることから、感染防止対策として、大学では学内の出入口と各トイレに消毒液を設置しています。手洗い後、よく手を拭いてから消毒液を塗布して下さい。また、夏休み中は各自感染防止対策に努め、手洗いやうがいを徹底しましょう。

熱中症予防

待ちに待った夏休み、そんな夏休みを楽しく過ごすためには、熱中症予防が大事です。海や山など、これからいろんな所へ旅行に行く計画を立てている学生さんも多いかと思いますが、熱中症は気温が高くなる7月から8月にかけて多く発生します。熱中症予防のために帽子をかぶったり、直射日光下に長時間いない、水分をしっかりとるなどを心がけ、無理をしすぎずに楽しい夏休みを送りましょう。

健康相談日のお知らせ

健康相談日を以下の日程で設けています。お昼休み 12:00~12:50 に保健室に指導員が在室していますので、相談したいことがある学生は、遠慮なく訪室してください。日程は保健指導員のホームページにも記載してあります。学内ホームページのメニューバーにありますので、保健指導員ブログと一緒に見て下さい。

健康相談日 7月27日(月) 9月14日(月)
9月28日(月) 10月13日(月)